

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ
 コード番号 3839 URL <http://www.odk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西井 生和

問合せ先責任者 (役職名) 企画総務部長 (氏名) 大塚 浩司

TEL 06-6202-0413

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,854	12.7	304		272		207	
2019年3月期第3四半期	2,123	10.4	209		169		130	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 116百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 221百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	25.34	
2019年3月期第3四半期	15.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	6,472	5,086	78.6	620.46
2019年3月期	7,158	5,052	70.6	616.25

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,086百万円 2019年3月期 5,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.0	430	24.7	450	26.6	310	0.8	37.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,200,000 株	2019年3月期	8,200,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,032 株	2019年3月期	2,032 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,197,968 株	2019年3月期3Q	8,177,546 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続いておりますが、海外経済の動向や金融資本市場の変動影響に加え、消費増税後の経済動向等もあり、先行きは不透明な状況にあります。一方、情報サービス産業においては売上高増加基調が続いており、回復基調の継続が期待されております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計(2019年11月分確報)より〕

このような環境下、当社グループにおきましては、「ODKを次のステージへ」を中期経営計画(2019~2021年度)の目標とし、「AI・データサービス提供」「制度改革対応、戦略的営業展開、本支店機能・インフラの最適化」「自動化・アウトソース推進、能力開発・スキル向上」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

その方策として、教育業務においては、「受験ポータルサイト『UCARO®』」(以下、UCARO®)によるサービスを強化いたしました。一つは「入学前準備サポート機能」の追加であり、UCARO®従来の入学手続きまでの機能に加え、合格発表後の入学に向けた準備までを幅広くサポートするものであります。もう一つはUCARO®と連携できる保護者向けサイト「UCARO® family」の提供です。受験に対する保護者の不安解消や、保護者に向けた大学の広報活動支援ツールとして、UCARO®と連携しサービス提供してまいります。

また、新たな取組みとして、カスタマーサクセス支援プラットフォーム「pottos」のβ版トライアル利用を開始いたしました。カスタマーサクセスはSaaS事業者等が自社サービスを顧客に長期継続的に利用してもらうための取組みであり、近年普及がすすみ始めております。当社では関連市場の拡大を見込み、カスタマーサクセスをシステムでサポートする「pottos」の機能拡充とシェア獲得を積極的にすすめてまいります。

さらには、新設したネクストステージ戦略室では、ODKのブランド価値向上、事業基盤の強化をすすめるべく、コーポレートブランド構築や中期経営計画の中核概念を整理しております。

当社ビジネスと関連性の高い3つのサービス市場(高大接続・FinTech・医療分野の電子化)を対象として、固定概念にとらわれないサービス創造を目指し、事業の拡大に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間につきましては、教育業務においてUCARO®の導入校数や登録者数の拡大に努めており、導入校数を15校増やしております。データプラットフォームとなるべく、マーケットでのデファクト・スタンダードのポジションを目指すものであります。

業績としては、臨床事業に係る運用業務や、教育業務における中間請求分等が増加した一方で、証券総合システムSENS21の開発案件剥落や、証券会社の事務代行業務の解約等があり、売上高は1,854,207千円(前年同四半期比12.7%減)となりました。また、ソフトウェア資産に係る減価償却費の減少や、医療システムの環境移行対応に係る材料費の剥落等があったものの、売上高の減少等により、営業損失は304,224千円(前年同四半期は営業損失209,129千円)となりました。顧客都合による業務解約の違約金収入等が発生したものの、経常損失は272,770千円(同 経常損失169,295千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は207,723千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失130,266千円)となりました。

なお、当社グループの事業は、大学入試業務等をはじめとした売上高及び利益が第4四半期連結会計期間に急増するといった特性があります。このため、第3四半期連結累計期間の売上高及び利益共に、低い水準にとどまり、損失計上を余儀なくされる傾向にあります。

売上高の内訳は次のとおりであります。

<システム運用>

臨床事業に係る運用業務や、教育業務における中間請求分等が増加したものの、証券会社の事務代行業務の解約等があり、1,639,708千円(前年同四半期比 5.6%減)となりました。

<システム開発及び保守>

証券総合システムSENS21の開発案件剥落等により、192,944千円(同 50.0%減)となりました。

<機械販売>

医療システム用タブレット製品の販売等により、21,555千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて685,540千円減の6,472,544千円となりました。これは主に仕掛品の増加があったものの、売上債権及び現預金の減少があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて720,039千円減の1,386,040千円となりました。これは主に未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて34,499千円増の5,086,504千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,439,570	1,873,039
売掛金	1,985,583	436,655
有価証券	1,580	—
商品	—	875
仕掛品	10,880	888,819
その他	106,380	167,389
貸倒引当金	△11,790	△2,473
流動資産合計	4,532,204	3,364,306
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	57,846	129,168
工具、器具及び備品(純額)	114,033	102,038
リース資産(純額)	237,859	162,411
建設仮勘定	3,361	3,330
有形固定資産合計	413,101	396,949
無形固定資産		
のれん	4,054	—
ソフトウェア	403,714	446,871
リース資産	12,532	6,583
ソフトウェア仮勘定	74,495	124,169
その他	5,669	5,394
無形固定資産合計	500,466	583,017
投資その他の資産		
投資有価証券	1,303,624	1,768,344
繰延税金資産	134,624	81,858
差入保証金	152,485	151,647
その他	121,578	126,446
貸倒引当金	—	△25
投資その他の資産合計	1,712,311	2,128,271
固定資産合計	2,625,880	3,108,238
資産合計	7,158,084	6,472,544

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,157	183,514
短期借入金	209,961	120,012
リース債務	111,200	86,249
未払金	149,689	84,910
未払費用	85,016	99,493
未払法人税等	226,825	7,553
賞与引当金	128,220	65,226
その他	196,643	57,118
流動負債合計	1,277,714	704,078
固定負債		
長期借入金	209,961	119,952
リース債務	169,300	108,116
退職給付に係る負債	449,104	453,894
固定負債合計	828,365	681,962
負債合計	2,106,080	1,386,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	692,722	692,722
利益剰余金	3,460,852	3,171,150
自己株式	△640	△640
株主資本合計	4,790,134	4,500,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261,870	586,072
その他の包括利益累計額合計	261,870	586,072
純資産合計	5,052,004	5,086,504
負債純資産合計	7,158,084	6,472,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,123,752	1,854,207
売上原価	1,620,876	1,448,162
売上総利益	502,875	406,045
販売費及び一般管理費	712,004	710,269
営業損失(△)	△209,129	△304,224
営業外収益		
受取利息	426	568
受取配当金	22,751	23,616
受取手数料	922	890
保険解約返戻金	18,122	—
違約金収入	—	8,748
その他	2,089	1,645
営業外収益合計	44,312	35,468
営業外費用		
支払利息	4,371	2,686
投資事業組合運用損	88	1,055
その他	17	272
営業外費用合計	4,478	4,014
経常損失(△)	△169,295	△272,770
特別損失		
固定資産除却損	616	2,711
事務所移転費用	—	16,935
特別損失合計	616	19,646
税金等調整前四半期純損失(△)	△169,911	△292,417
法人税、住民税及び事業税	4,106	5,353
法人税等調整額	△43,751	△90,047
法人税等合計	△39,644	△84,694
四半期純損失(△)	△130,266	△207,723
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,266	△207,723

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△130,266	△207,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,021	324,202
その他の包括利益合計	△91,021	324,202
四半期包括利益	△221,287	116,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△221,287	116,479

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。